

東下り 「からころも」の歌・修辞法

折り句

その **さまに** かきつはたいとおもしろくせたりそれをみてあるひとのいはく
かきつばたといふいつせじをぐのかみにすゑてたびのいいろをよめといひけれ
はよめ

一般的
折り句
とは?

歌の中で折り句になつている字を **()** で囲みなさい。

からころもきつなれにしつましあればはるばるきぬるたびをしそおもふ

から **ころも** **きつ** **まし** **あれば** **はる** **ばる**
 (序詞) () () () () () ()

にし **よれよれ** **になる**

つまし **あれば** **はる** **はる**
 () () () ()
 a (**看**) ()
 b () () ()

掛詞 ……

掛詞 a をつなげて解釈すると……

唐衣を着続けて **よれよれ** なつたなあ。これまでの旅をこんなふうに感じた。
寝 []

」があるので、 **張り**ながら **着** **でき**

掛詞 b をつなげて解釈すると（裏の口語訳）……

縁語 ……

() の中の語（漢字で）……（ ）

この歌では（ ）つなり。